



おおねじめ

発行 肝属郡大根占町役場

昭和56年12月号

No. 347

町の人口(12月1日現在)

男 4,640

女 5,178

計 9,818

11月1日より8人減



仏壇製作で自立

障害者であることに甘えず
仏壇製作の技術修得に取り組
み、りっぱに自立更生されて
いる箱丸才三さん(四十六歳
皆倉部落)十二月一日、県身
障者福祉大会で表彰

婦人三百人が畜産研修

牛の見方や飼育の方法を学ぶ

「畜産経営は、私たち婦人の力で」とこのほど畜産農家の主婦三百人が、花ノ木家畜市場で牛の見方や飼育の方法について研修を受けました。畜産経営に大切な婦人の役割を認識してもらうため、毎年行われている婦人部研修会は今年で五回目、研修会は年々充実し、畜産農家に大変喜ばれています。

今回は、肝属畜連の野村参



メモをとりながら真剣に研修にとりくむ

事を講師に招き、牛の見方、飼育の方法について勉強しました。

◎牛は愛情をもって育て、細かい心くばりが大切であること、
◎良質の草で飼うこと、
◎日光浴、運動をじゅうぶんさせること、
◎畜舎の通風をよくすること（参加者の声）

牛のことを勉強するのは大変楽しいです。いつも牛と接していると煩惱がわき可愛いくてなりません。愛情をもって育て、細かい心くばりがりっぱな牛を育てる第一条件と、思っています。こんな研修会をもっとしてほしいです。

落河部落に

婦人の畜産グループ

落河部落に、小川則子さんを会長とした婦人十三人の畜産グループが結成されました。このグループは、畜産に対する婦人の役割が大きいこと、また、牛を育てるのは、心のやさしい婦人の仕事と先の婦人部研修で勉強したことを、さっそく実行し、結成されたものです。この地区は、葉タバコ、大根などの複合経

営の農業ですが、畜産は特に盛んな地区で、良い牛がたくさん導入されている部落です。グループでは、さっそく根占町横別府の畜産婦人グループと交流会をもち研修するなど意欲満々、関係者の間で大きく期待されています。

牛のツメ切りを競う

削蹄共励会

第六回削蹄共励会が、川南をはじめ六会場に二十五のグループが参加して行われました。

牛のツメ切りは、足を強くすると共に、体型を整え、りっぱな牛を生産するためには



牛くんツメ切りに不安顔

欠かせない作業です。各グループとも技術が向上し、ハサミ、カマの使い方も上々との講評でした。

◎牛からのお願い

ツメを切ってもらい歩きやすく、立ちやすくなりありがたいと思つてます。切られる身になって、ていねいに、やさしく、かっこよく切ってください。

◆運動の期間

◎十二月十五日から

一月十日まで

◆運動の重点事項

◎歩行者、特に子ども

とおとしよりを交通事故から守る

年末・年始 交通事故 防止運動

◎飲酒、スピードの出し過ぎなど無謀運転を追放する

年末、年始は酒を飲む機会が多くなります。飲酒運転は絶対にやめましょう。

母と子がかつちりスクラム

福祉大会とスポーツ大会で 楽しい一日を過ごす

強く、明るく、たくましく生きようと、一家の大黒柱を亡くした母と子二百人が町福祉センターに集まり、福祉大会とスポーツ大会で楽しい一日を過ごしました。

午前中の福祉大会では、川盛康町長のあいさつに始まり、土橋和典肝属福祉事務所

長などの祝辞、功労者の表彰体験発表などが行われました。また、「涙なんかとんでゆけ」と題し、お父さんを交通事故で亡くした母子三人が、助け合

合つて明るく、力強く生活していく感動的な映画が上映され、参加者の涙をさそいました。お父さんがいなくても、夫がいなくても、自分達の力で一生懸命頑張ることが、人間としての幸福につながることをしみじみ感じられたこと

でしょう。

午後からは、来賓も参加してスポーツ大会が行われ、仮装行列、二人三脚、ビン倒しなどお母さんと子供達が協力



競技を楽しむ親子

体験発表



ぼくのお母さんは、ぼくが四才の時、胸椎カリエスという病気で三年四ヶ月という長い間病院に入院していた。幼いぼくは、お母さんがい

ぼくのお母さん

大根占中学校二年生

熊谷 孝之君

お母さんが元気だったころは、保育園に毎日自転車であつていって、来てくれたが、お母さんが入院してから、おばあさんがこの重いぼくをせおってつれていってくれました。日曜日など、よくお母さんの所へつれていってくれました。お母さんの所へ行くたびに、お母さんは、だんだん元気になってきたように思いました。やがて、保育園を卒業して小学校の入学式がやってきた。

帰ってくるのでわくわくして、二年になってから初めての参観日、お母さんが来てくれたので、お母さんを喜ばせようと思い何度も発表しました。お母さんは、帰ってからすぐくぼくのことをほめてくれた。楽しい生活が続いていたが、今度はへんとうせんで一ヶ月ぐらい入院し、またそれから多くの病気を七かしょ手術し、もう体はきずだらけでほんとうにかわいそうだった。帰って来てからも多くの薬を

のみ、ぬったりして自分の体をいたわっていた。小学校の卒業式の時、ぼろぼろ涙を流し、ぼくに「ごちそうをしていってくれた。お母さんは、楽な仕事ができるようになった。今も元気で仕事をしている。小学校の入学式に来てもらえなくて本当にさびしかったが、中学校の入学式にお母さんが来てくれた。ほんとうにうれしかった。中学生になってからは、班長を三回近くやり、友達からは生徒会長にも選ばれてはいる。今ではうれしかった。今ではクラス係をうけもつており、みんなのためにいっしょけんめいがんばっています。ぼくもこんなに大きくなりました。お母さん、おばあさん、みんなにありがとう。いつまでも元気で長生きしてください。こんな立派な母子会に入ってもらいたい。ありがとう。とうございませう。

福祉部の皆さん、母子家庭の皆さん、本日はどうもありがとうございました。

町民の広場

このページは、町民の皆さんのコーナーとして自由な意見、要望、話題などを紹介します。お気軽にご意見をお寄せください。
(TEL 2-0511 広報係)



荏原輝夫医師に感謝状

宿利原診療所担当医の荏原輝夫先生が勇退されました。荏原先生は、当診療所開設以来、14年有余の長い間、週1回の診療を続けてこられました。
町では、地域医療の重要性を認識し、無医地区医療に献身的に努めてこられた同先生に感謝状を贈り、その労をねぎらいました。ほんとうに長い間ありがとうございました。なお後任の担当医を坂元チエ子先生(池田)がしてくださることになりました。よろしく願いいたします。



豊漁と操業の安全を祈願

第三回町漁業振興祭が開催され、漁船のパレードや漁願相撲などに行われました。これは、漁民の祭りとして昔から行なわれていた「えびす祭」を軸に、町の漁業の振興をはかって行なわれたものです。午前中は漁船二十隻が大漁旗を掲げて沿岸をパレード。続いて、染川金蔵漁協組合長を始め漁協関係者、川邊町長など来賓多数が出席し、漁協横のえびす神社に豊漁と操業の安全を祈願しました。午後は、漁協広場で呼び物の漁願相撲が行なわれ、町内の小学生、中学生、高校生それに一般の力士が元気にいっぱい気合のこもった相撲をひろうし、漁業振興祭を盛り上げていました。

中学生、高校生それに一般の力士が元気にいっぱい気合のこもった相撲をひろうし、漁業振興祭を盛り上げていました。

(4)

馬場田ノ神

町の文化財に指定

大根占町馬場(木原ノ上)にある田ノ神像が、町指定有形民族文化財に指定されました。この田ノ神像は、江戸時代後期以降の作と思われ、豊作を祈願して建立されたもので頭にこしきをかぶり、右手にしゃもじ左手にすりこぎをもった廃仏忌で、顔を傷つけられているがどっしりした風ぼうのある像で、ある像で、水田を守る田ノ神として大切にされている。



どっしりした風ぼうのある像で、水田を守る田ノ神として大切にされている。



移動図書室の利用を

町内七ヶ所に設置されている移動図書室をご存知ですか。移動図書室は、一般家庭のご協力により、町民の方々に身近な場所で気軽に読書に親しんでいただくことを目的に町社会教育課が、今年三月から始めたものです。人の心を豊かにし、教養ある人間形成に役立つ読書に親しみましょう。移動図書室では、町民の皆さんのご利用を心から歓迎し、お待ちしております。ぜひご利用ください。(移動図書室) 脇元道世宅(木原) 書川弘子宅(旭町) 徳永論宅(神川中) 徳留賢逸宅(神川中) 下之園孝一宅(皆倉) 今村トミ子宅(宿利原) 馬込幸男宅(笹原)

年末年始の火葬場の仕事
◎年末は、平常勤務(三十一日まで)
◎年始は、一日だけ休み、二日から平常勤務

57年成人式
とき 一月三日 午前十時から
ところ 農村勤労福祉センター
※当日は、平服で参加
しましょう

おしらせ

昭和五十七年度

保育園入園者を募集

昭和五十七年度の保育園入園者を募集しています。入園を希望される方は、申請書を役場福祉係へ提出してください。申請書は役場福祉係と各保育園に準備してあります。
※募集人員

法輪保育園 六十人
めばえ保育園 六十人
ひかり保育園 六十人
※申請受付
十二月十四日から十九日まで
(期限を守ってください)

※入園できる基準

(1) (家庭外労働) 児童の母親が昼間家庭の外で仕事をすることが普通なので、その児童の保育ができない場合。
(2) (家庭内労働) 児童の母親が昼間家庭で児童とはなれて日常の家事以外の仕事をすることが普通なので、そ

の児童の保育ができない場合
合し、父親がその仕事に従事し、かつそのための使用人がいる場合を除く。
(3) (母親がいない家庭) 母親の死亡、行方不明、抱禁などの理由により、母親がいない家庭の場合。
(4) (母親の出産等) 母親が出産の前後であったり、心身に障害があったりするのでその児童の保育ができない場合。
(5) (病人の看護等) その家庭に長期にわたる病人や心身に障害のある人がいるため母親がいつもその看護にあたり、その児童の保育ができない場合。
(6) (家庭の災害) 火災や風水害や地震などの不幸がありその家庭を失ったり、破損したため、その復旧の間

公営住宅入居者募集

町では、来年一月に完成予定の公営住宅(港団地)入居者を募集しています。入居を希望される方は、役場管財課へ申し込んでください。
○募集戸数 十二戸
○申し込み期限
十二月二十八日まで
○家賃 月額二万円
○入居時期

五十七年一月下旬の予定
詳しくは役場管財課へおたずねください(二一〇五一)

ぜがひでも

野球選手に

寿哉君(五か月)

人見知りせず、誰にでも笑顔をつりまく寿哉君、大きなまんまるい目がきりつとしてたくましさを感じられる。町内の男の子を代表



元気です⑨



酒・タバコは体にドク

島浜 勝野金助さん
(九十二歳)

物静かで、みるからにやさしそうなおじいさん。顔色も良く、大変元気そうです。天気の良い日は、部落

して、県の乳児健康審査に出場。みごと準特選児に輝いた。母乳だけで育っており、大変元気です。
好物は、リンゴジュースでみそ汁やセンベイなどもよく食べる。
「元気でこのびと育ってくれたら」と言うお母さんに對し、お父さんは「ぜがひでも野球選手にさせたい」と寿哉君に大きな期待をかけている。
お母さんは
折小野まゆみさん
(木場部落)

中を散歩し、提防に立って海を見ていることも多い。昔は馬車引きをし、炭の運搬をしていた。
今は一人住まいであるが近くに住む娘さんがよく世話をしてくれる。
「こんなに元気で、長生きができるのは、酒もタバコもやらず、いつも体を動かしてきたからでしょう」と話しておられます。

今後、益々元気で頑張ってください。

みんなそろって明るいお正月を

「歳末たすけあい運動」にご協力を

十二月一日～二十五日

戸籍に関する情報は ホームページ上では 掲載していません

善意の話題

町社協へ

社会福祉事業に役立てて下さいと次の方々から、香典返しにかえ寄付がありました。厚くお礼申し上げ、故人のごめい福を祈ります。

() は故人
中村 亀吉 (ハツ) 大橋上
落河 清志 (キクノ) 大尾
馬場三喜男 (初美) 神之浜一区
福岡 虎吉 (太郎) 上之宇都
有川 サエ (清志) 麓
赤石 菊江 (アクリ) 皆倉
番園 清二 (サト) 神川新町
水口 正助 (スキ) 瀬戸山
鵜瀬 マサ (吉義) 神之浜一区
酒匂 ツヨ (光治) 皆倉

広報紙の謝礼

横浜市在住の
長 清光さんから金一封
都城市在住の
平原克さんから金一封
札幌市在住の
川越辰信さんから金一封

今月は

町県民税
国民健康保険税
第四期分の納期です